

国立研究開発法人

NICGM

国立国際医療研究センター

2025

看護職員募集案内

センター病院

Center Hospital

国府台病院

Kohnodai Hospital

ナショナルセンターで唯一、総合病院として高度で幅広い医療を実践

国立国際医療研究センターは、厚生労働省所管の国立研究開発法人で国立高度専門医療研究センターの一つです。日本に

おける臨床研究開発の最先端を担っています。総合医療、国際医療協力、感染症（エイズ、肝炎、国際的新興・再興感染的医療・看護を実践しています。

センター病院 CENTER



- [開設]
1868年10月
- [職員数]
約2,300名(看護職員829名)
- [看護配置]
特定機能病院 一般病棟 7:1
- [看護方式]
固定チームナーシング、
プライマリーナーシング
- [勤務体制]
二交替
- [診療科]
内科、精神科、小児科、外科、
整形外科、脳神経外科、皮膚科、
泌尿器科、産科、婦人科、眼科、
耳鼻咽喉科、放射線科、歯科・
口腔外科、麻酔科、神経内科、
呼吸器科など全43診療科
- [施設病床数]
749床

※2023年4月現在



国府台病院 KOHNODAI



- [開設]
1945年12月
- [職員数]
461名(看護職員234名)
- [看護配置]
一般病棟 10:1
精神科病棟 13:1
- [看護方式]
固定チームナーシング
- [勤務体制]
二交替(3・3夜勤)
三交替(3・2夜勤)
- [診療科]
内科、心療内科、精神科、児童精
神科、呼吸器内科、消化器内科、
肝臓内科、循環器内科、アレルギー科、
リウマチ科、外科、整形外科、
脳神経外科、泌尿器科、眼科、
耳鼻咽喉科、救急科、歯科、麻酔
科など全36診療科
- [施設病床数]
335床

※2023年4月現在

看護部の理念	看護部の基本方針	
かけがえのない生命と人間性を尊重し、あたたかい看護をめざします	安全で質の高い 看護の提供に努めます。	看護教育、看護研究を 推進し、看護を創造します。
		変化する医療に対応できる 看護をめざします。

知識と技術に心を込めた看護、当たり前だからこそ真剣に取り組めます

私たちは、看護の理念である「あたたかい看護」とは何かを、一人ひとりの看護職員があらゆる場面で考えながら看護していくことを目指しています。そして「病気」ではなく「人」を見ていくことが大切であると考えます。そのために確かな知識と技術、そして倫理観を身につけたジェネラリストの育成を目標とした教育体制があります。高度急性期医療におけるジェネラリストの育成を基礎とし、幅広い専門分野で活躍するスペシャリストを育成するための研修があります。

こころとからだを見る。それが国府台病院の看護です

国府台病院には、一般病棟と精神科病棟があり、日々のちとこころに向き合っています。「こころとからだを見る看護」の実践のために、一般科と精神科の専門性を備えた看護師が力を携えてあたたかい看護を提供しています。

院内教育では、技術習得はもちろん、倫理観やリーダーシップを養うプログラムを揃えています。新人看護師は、集合教育に加え、個性をふまえた手厚いOJTによる指導体制でのびのび育つ環境にあります。

新人からベテラン看護師までバランスよくおり、忙しい中でも医師や他職種とのチームワークがよく、明るく誇り高く働ける職場です。地域から求められる国府台病院で、患者さんのこころとからだに寄り添う看護を一緒に実践しましょう。

それぞれの病院の特徴と、実践している看護



センター病院 CENTER Hospital



高度・急性期医療を支える



初期救急医療から三次救急医療まで様々な救急患者を受け入れ、高度・急性期医療を行う特定機能病院です。高度・急性期看護の場面では、限られた時間での判断と実践が求められます。必要な知識、技術を身につけ、患者さんやご家族の不安を軽減しあたたかさを感じられるような看護をめざしています。

感染症の看護を実践する



当院では、新興感染症の患者を受け入れており、呼吸状態の急激な悪化に対応できるよう訓練を実施しています。患者さんの不安な気持ちに寄り添い、真摯に向き合うと同時に職員一人ひとりが安心して医療・看護を提供できるようチームで協力して取り組んでいます。

特定行為研修修了者による看護の質向上



手術室では大学院修了後の診療看護師が、周術期管理を行っています。医師・看護師・多職種で連携し、手術室内に留まらず、術前評価、術後疼痛管理の充実を目指しています。当院では、大学院修了者、認定看護師、当院の特定行為研修修了者が様々な分野で、連携し病院全体の看護の質向上に貢献しています。

こころとからだに寄り添う看護



国府台病院は、地域に根差した急性期病院として24時間救急患者さんを受け入れ、地域の人々の信頼に応えられるように医療を提供しています。身体疾患、精神疾患を合併している患者さんが多く、こころとからだ両方のケアが必要です。根拠に基づいた看護を実践し、患者さんが安心して療養できる環境を整え、患者さんの心に寄り添うあたたかい看護を提供しています。

患者中心のチーム医療の推進



ICT・褥瘡対策チーム・精神リエゾンチーム・栄養サポートチームなど、こころとからだをケアするチームのほか、地域医療連携室やソーシャルワーカーなど多職種が協働し、患者さんの治療から退院後の生活へのサポートを行っています。患者さんの思いやQOLを第一に考え、看護を実践しています。

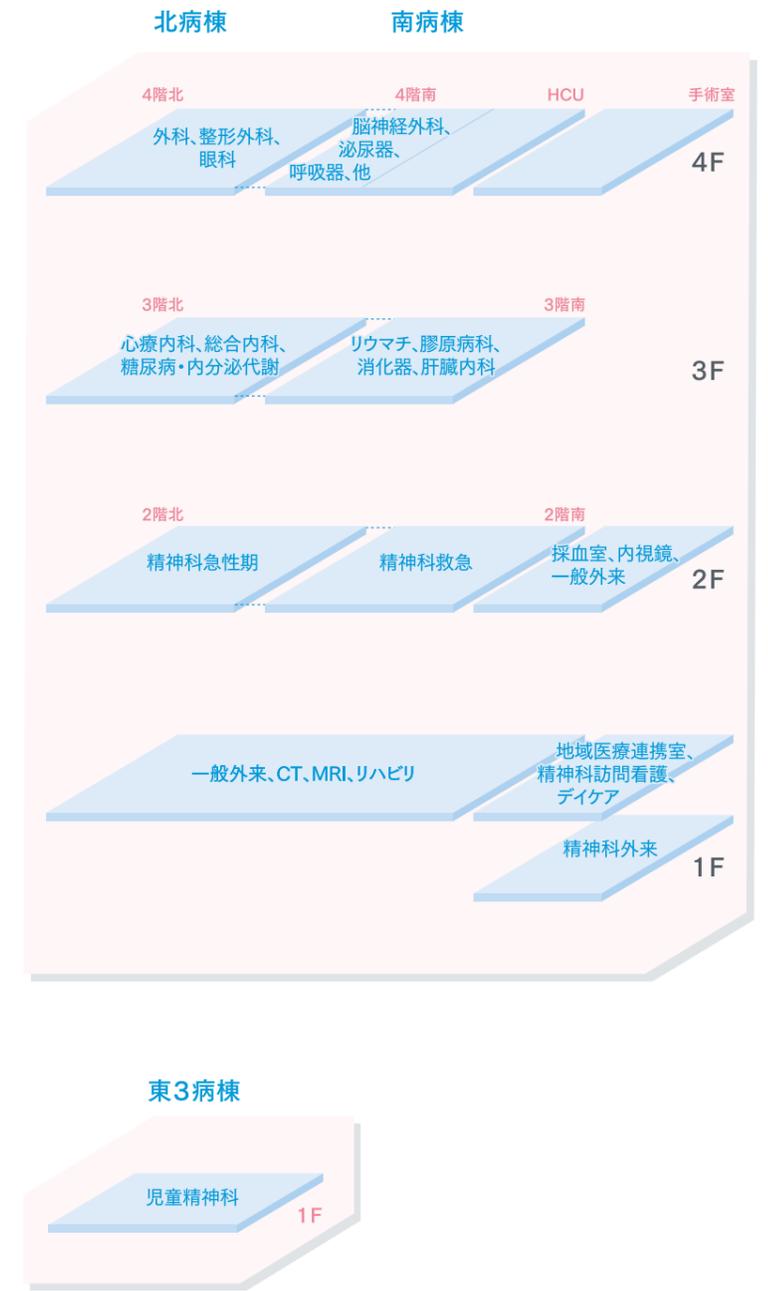
急性期から在宅へつなげる精神科看護



千葉県精神科救急医療システム基幹病院に指定され、24時間患者さんを受け入れています。患者さんや家族が安心して元の生活に戻れるよう、入院早期から多職種が支援し、地域で過ごせることを目指しています。退院後は訪問看護師が地域支援者と協働し、精神症状悪化前兆の発見や服薬援助など病状や生活の安定と維持を支援しています。



国府台病院 KOHNODAI Hospital





センター病院
CENTER Hospital

「なりたい看護師」を実現できる ～一人ひとりのキャリア開発を支える教育体制～

院内教育プログラム「Career Bloom」について

当院は、幅広い医療を担う組織です。看護師は、組織の一員として、また看護専門職として、日々能力が発揮できるよう、学習を重ねながらキャリア開発をしています。

Bloomとは、「花」「開花」の意味があります。「Career Bloom」には、看護師1人ひとりのキャリアが、それぞれに開花してほしいという願いを込めています。また、国花である「さくら」を用いて、1枚1枚の花びらをラダーレベルに例えています。1人の看護職として、美しく咲き誇り、5枚の花びらとなった「さくら」を、成長したジェネラリストやスペシャリストとして活躍する当院の看護師としてイメージしています。そして、各自が「こんな看護師になりたい」と、思い描く姿や成長は様々であり、多様性のある看護職への成長を期待し、さくらの模様の違いで多様性を示しています。それぞれが個性あるさくらを咲かせ、看護部全体で美しくきれいな花を咲かせていきましょう。



院内教育計画

キャリアラダー	ラダー別学習・実践内容 院内研修
レベルⅠ	看護基準・手順に沿った看護実践、医療安全・感染防止マニュアルに基づいた行動、医療倫理・看護職の倫理綱領の理解、多職種連携の理解、看護チームの一員としての行動 技術演習、フィジカルアセスメントⅠ、多重課題・シミュレーション、看護倫理Ⅰ 医療安全Ⅰ、リフレクション①～④
レベルⅡ	根拠に基づいた看護実践、意思決定支援の理解、多職種と情報交換 メンバーシップ、フィジカルアセスメントⅡ、看護倫理Ⅱ、医療安全Ⅱ、リフレクション⑤、メンター
レベルⅢ	対象の個別性を重視した看護実践、意思決定支援の行動、多職種連携の推進 リーダーシップ、呼吸管理、エンドオブライフケア、先輩のキャリアを知る、後輩育成Ⅰ
レベルⅣ	状況に応じ、的確な判断のもと看護実践、アドボカシーの理解と実践、多職種協働 患者急変時および突発的な出来事発生時のリーダーシップ、看護倫理Ⅳ、医療安全Ⅲ、看護管理アドバンス研修、感染管理Ⅳ、多職種連携Ⅳ、後輩育成Ⅱ、Ⅲ、自己のキャリアを考える、診療報酬とDPC
レベルⅤ	専門性の高い看護実践、複雑な状況に合わせた看護実践、意思決定支援・倫理的行動における役割モデル、多職種協働における中心的役割発揮 幹部看護師任用候補者選考前研修
その他	看護管理研修

●千葉 みゆき
●がん看護
専門看護師



センター病院 スペシャリスト

がん治療では、告知や副作用などつらい局面もあります。どんな状況でも、その人なりの対処の仕方でも乗り越え成長する患者さんの力を信じて、病気への向き合い方、治療の選択、副作用や後遺症のケアなど、様々な相談をお受けしています。患者さんの生きる姿は本当に素晴らしく、私が生きることを励ましてくれます。この相互円環的な看護の魅力を、ぜひ皆さんにも感じてほしいです。

専門・認定看護師 ※2023年10月現在

センター病院 専門・認定看護師による研修も多数開催されております。

専門看護師	人数
感染症看護	1名
がん看護	1名
精神看護	3名
急性・重症患者看護	3名
小児看護	1名
計(5領域) 9名	

認定看護師	人数	認定看護師	人数
感染管理	3名	呼吸器疾患看護	1名
皮膚・排泄ケア	2名	糖尿病看護	2名
がん性疼痛看護	1名	救急看護	2名
がん化学療法看護	3名	訪問看護	1名
集中ケア	1名	新生児集中ケア	1名
緩和ケア	1名	不妊症看護	1名
手術看護	1名		
慢性心不全看護	1名		15領域22名
クリティカルケア	1名		
認定看護管理者		5名	
特定行為研修修了者(認定看護師を含む)		8名	

センター病院 スペシャリスト

様々な病態により長期化する人工呼吸器管理から患者さんが、安全に離脱する看護はとても重要です。離脱に向けて臨床推論や専門的な知識から包括的にアセスメントし、医師や多職種と連携しながら患者さんにとって最も適切な離脱のタイミングを作り出すよう努力しています。また、看護師が発信する情報は、患者さん本人の力の発揮につながり、日々看護の力の大きさを感じています。



●小美濃 明子
●クリティカル
ケア認定
看護師

●町川 香代子
●糖尿病看護
認定看護師
(特定行為研修修了)



センター病院 スペシャリスト

糖尿病をもつ方がその人らしく生活していくために身体的・心理的・社会的な側面をアセスメントしながら支援を提供します。糖尿病のフットケアでは、患者さんがセルフケアができるように自立を促し、「血糖パターンマネジメント」では血糖値と生活状況を確認して良好な管理を目指します。低血糖や高血糖を回避して生活の質の向上を図ることを目標に特定行為の「インスリン投与量の調整」を実施し支援しています。



センター病院
CENTER Hospital

看護師としての基盤を作る、病院 全体での新人教育・支援体制

■ 年間教育（1年目） ■

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4月1日～6日 ■ 新採用オリエンテーション	5月 ■ 看護倫理 I-1		7月 ■ リフレクション②(3ヶ月の振り返り)			10月 ■ 多重課題・シミュレーション ■ リフレクション③(6ヶ月の振り返り)		12月 ■ 看護倫理 I-2		2月 ■ リフレクション④(11か月の振り返り) 年4回 ■ リフレクション研修(4月、7月、10月、2月)	
4月 ■ 看護技術演習 ■ 医療安全 ■ リフレクション①	■ フィジカルアセスメント ■ 接遇		■ コミュニケーション ■ 夜勤オリエンテーション								



フィジカルアセスメント



輸液管理



採血



体位変換



夜勤オリエンテーション



リフレクション研修

病棟でのサポート体系

教育担当副看護師長



安田 裕美
2005年度入職

後輩育成担当者を中心に、病棟全体で新人を教育する体制を作っています。また、対話を大事にしながら、個々の学習サポートを行っています。

新人看護師



遠藤 生茂
2023年度入職

後輩育成担当看護師



高畑 菜利
2019年度入職

日々の看護実践や振り返りを通して、新人看護師が安心して働ける環境を作り、成長できるように支援しています。

病棟全体で支援

共育支援

環境づくり

先輩看護師と毎月の振り返りを通して、器械出しや外回りで新しくできるようになったことや知識の確認をしています。さらに、看護の課題が明確になり、自分の成長も実感できています。

共育支援

*「共育」…教育とは教えることではなく、育てることです。自分も共に育っていくという姿勢が「共育」であり、その姿勢がとても大切です。

リエゾンナース（精神看護専門看護師）



小川 弘美
2011年資格取得

教育担当看護師長



宮木 良
2014年資格取得

教育担当副看護師長



宇佐美友紀子
2011年資格取得



服部 久恵



中野 千春

病院全体で新人と共に成長できるよう支援しています。



新人は黄色いストラップを身につけます

センター病院 新人看護師

さまざまな経験を積み、実践力のある看護師を目指して入職しました。日々の看護実践では手術チームの一員として、安全で円滑に手術が行われるよう努めています。一年に複数回ある集合教育は同期と学びあい自分のキャリアを考える機会となっています。これからも、患者さんの小さな変化を見逃さず、臨機応変に対応できる看護師を目指し、日々知識を蓄え、手技を磨き続けます。



● 遠藤 生茂



国府台病院
KOHNODAI Hospital

こころとからだを支える看護を実践できる、看護師を育成

国府台病院は、急性期の総合病院に加え精神科病棟を有し、地域から精神科患者の身体合併治療に関するニーズが高く求められています。こころとからだ、人間性を尊重し良好な人間関係を形成し患者家族を支援する看護師を育成しています。個々の看護師が看護の専門性を追求し、主体的に学習できるようキャリアラダーを導入し個々に併せた支援をしています。

院内教育計画

キャリアラダー	経年別教育	ねらい	研修内容
レベル I	1年目	基本的知識・技術を看護基準・手順に沿って助言を受けながら看護を実践できる。安全管理・感染予防体制を理解し、看護チームの一員としての行動できる	基本的知識と看護技術演習 医療安全(KYT) 静脈注射 多重課題 急変時対応 リフレクション 看護観
レベル II	2年目	根拠に基づいた看護実践、メンバーシップ、リーダーシップを発揮して目標達成に向けて行動できる	看護倫理 I 事例研究 メンバーシップ 医療安全(看護師責務) チューター(導入)
	3年目		チューター(実践) 医療安全(要因分析の基本) リーダーシップ 看護観
レベル III	4年目	対象の個性性を重視した看護実践、多職種との連携、看護について「教える」ことができる	看護倫理 II 医療安全(事故要因分析) 看護観 後輩育成(教育担当 導入編)
	5年目		後輩育成(教育担当 実践編) 急変時の対応に関するリーダーシップ
レベル IV	6年目以上	意思決定支援・倫理的行動における役割モデル。看護専門職としての確固たるアイデンティティが確立し、看護をより発展させる能力を身につける	看護管理 看護研究指導(個別)
レベル V		専門性の高い看護実践、より複雑な状況に合わせた看護実践、複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種も含めた調整的な役割モデル	



新人看護師のための看護技術チェック表

国立国際医療研究センター 国府台病院

◆新人看護師のための教材

看護技術チェックリストを用いて看護技術の到達度を評価、確認します
※E-learningによる学習システムで看護技術の知識や手順を学ぶことができます



●佐藤 実空
●3階北病棟

国府台病院 新人看護師

私は当院看護部の「こころとからだを看る看護」という理念に惹かれて入職しました。当初は生命に携わる責任の重さと、分からないことばかりで不安な日々を過ごしていましたが、先輩方の手厚い指導のもと、看護師としての技術・知識を少しずつ向上させることができ、楽しく看護ができています。今後も患者さんに寄り添える看護師になれるよう、経験を積み重ねていきたいです。

国府台病院 ジェネラリスト

術後合併症予防に重きを置き、1日でも早く入院前の生活に戻ることが出来るよう、個性性に応じた看護を実践しています。患者さんが離床を積極的に取り組む姿や、徐々に回復していく経過の中で表情が豊かになる様子は、私たちの看護の励みになっています。また、ストーマ研修に参加した強みを活かし、ストーマの手術を受ける患者さんの思いに寄り添いながら、セルフケア確立に向けた指導をするとともに、後輩育成にも力を入れています。



●新井 美夏
●4階北病棟

認定看護師 6領域8名の専門・認定看護師が、集合研修や各部署での勉強会を行い、専門的な知識・看護技術の指導をしています。

専門看護師	人数
精神看護	1名
慢性疾患看護	1名
認定看護師	人数
感染管理	2名
皮膚・排泄ケア	1名
がん化学療法看護	2名
がん性疼痛看護	1名

認定看護管理者	2名
日本精神科看護協会 精神科認定看護師 (精神科身体合併症看護)	1名

※2023年4月現在



●小岩井 慶子
●皮膚・排泄ケア認定看護師

褥瘡の予防的ケア・治療的ケアやストーマケアに関して、患者さんや家族の気持ちに寄り添い、適切なケアの提供や個々に応じたセルフケア指導を行っています。退院後のストーマ外来ではケアの確認とともに、心と身体の両側面から援助を行い不安の軽減に努めています。褥瘡対策委員会では、多職種でラウンドや勉強会を行い実践に活かしています。看護の質向上のために看護師への教育的関わりを大切にしています。



●山路 尚
●3階南病棟

国府台病院 副看護師長

6年間勤めた後に、自己啓発休業制度を活用し大学院に進学しました。復職後は外科系病棟を経験し、現在は消化器内科・リウマチ科の副看護師長として勤務しています。副看護師長として働く中で、大学院で学んだことを活かし、安全で質の高い看護実践のため、働きやすい職場環境のために、業務改善を積極的に行っています。今後も自己研鑽を続け看護師として成長をしていきたいです。



国府台病院
KOHNODAI Hospital

こころとからだを支える看護を実践できる、看護師を育成

■ 年間教育 (1年目) ■

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
看護実践	■ 職場環境に 適応する	■ 基礎看護技術を実践する	■ 日勤業務を理解する	■ 夜勤業務を理解する	■ チームメンバーとしての役割を理解する		■ 急変時の初期対応が できる	■ メンバーとしての役割を実践できる		■ 複雑な病態患者の受け持ちができる		
研修プログラム	4月 ■ 新採用者 オリエンテーション ■ 基礎看護技術研修 ① 社会人基礎力/ 身だしなみ/ コミュニケーション ② 看護倫理 ③ バイタルサイン/環境整備 ④ 体位変換/移動 ⑤ 清拭/おむつ交換 ⑥ 与薬の技術と薬剤管理 ⑦ 薬剤投与(点滴投与) ⑧ 食事介助/口腔ケア ⑨ 感染予防/吸引	5月 ⑩ 膀胱留置 カテーテル ⑪ 輸液ポンプ/ シリンジポンプ	6月 ■ リフレクション①	7月 ■ 医療安全(KYT)	9月 ■ 多重課題	10月 ■ 急変時の対応 ① AEDの取り扱い ② BLSの実施 ■ リフレクション②	11月 ■ 静脈注射 ① 講義 ② 技術演習 ③ 技術チェック			2月 ■ 看護観/リフレクション③ ① 日々の看護実践を振り返る ② 自分の看護を言語化する ■ ストラップ授与式		
												

■ 基礎看護技術研修 4月 ■

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3	4	5	6	7
オリエンテーション			看護技術① ・ 社会人基礎力 ・ 身だしなみ ・ コミュニケーション	看護技術② ・ 看護倫理
看護技術③ ・ バイタルサイン ・ 環境整備		看護技術④ ・ 体位変換 ・ 移動	集合研修 4~5人で演習、 指導者は病棟の 先輩です。	
看護技術⑤ ・ 清拭 ・ おむつ交換	病棟 集合研修で学習した 内容を先輩看護師 と実践します。	19	看護技術⑥ ・ 与薬の技術と 薬剤管理	21
看護技術⑦ ・ 薬剤投与(点滴投与)	「4月の看護実践」 ・ 基礎看護技術を学びながら病棟に慣れる ・ 社会人としての基礎的態度を身につける ・ 集合教育で学んだ基礎看護技術の実践ができる	26	看護技術⑧ ・ 食事介助/口腔ケア ・ 感染予防/吸引	28

■ 1日の勤務スケジュール(2交代制) ■

日勤 8:30~17:15

8:30	8:45	9:00	9:30	10:00	11:45	12:00	14:30	16:00	17:15
出勤	朝のミーティング	患者さんにあいさつ	点滴の準備	検温・清潔ケア	配膳・食事介助	お昼休憩	カンファレンス 病棟ラウンド	看護記録	勤務終了

夜勤 16:00~9:30

16:00	16:45	17:00	17:30	18:00	19:15	19:30	21:00	22:30	24:00
出勤 情報収集	ミーティング	患者さんにあいさつ	点滴の準備 配膳準備	配膳・検温 イブニングケア	休憩	検温 イブニングケア	消灯	休憩 22:30~24:30 2時間の休憩	

0:00	1:00	2:00	4:45	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	9:30
ラウンド	点滴準備 点滴更新	休息	内服薬準備	検温 モーニングケア	採血 配膳準備	配膳	下膳 内服介助		勤務終了

病棟でのサポート体系



働き続けられる支援体制

長期院外研修支援

- [1] 認定看護師教育課程・特定行為研修:出張扱いで修学することができます。
- [2] 海外研修制度や海外看護研修などがあり、出張扱いで受講することができます。

自己啓発等休業制度

- [1] 国立看護大学校、その他の大学・大学院等における修学のための休業制度があります。
- [2] 国際貢献活動((独)国際協力機構がおこなう派遣業務を目的とした開発途上地域における奉仕活動)のための休業制度があります。

研究支援

国立看護大学校主催の看護研究の研修に参加できるほか、国立看護大学校や大学院修了者から、看護研究についてさまざまなアドバイス受けることができます。

意向調査

配置換えやキャリアアップについての意向を、年に1回調査します。一人ひとりの状況と、それぞれの部門・病棟の状況で配置を考えます。

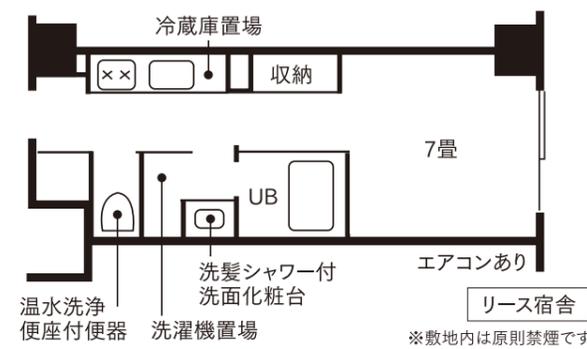
育児支援

働きながら子育てができる育児支援体制が整っており、多くの先輩たちが仕事と育児を両立しています。

- ◇産前・産後休暇：就業規則により、産前・産後の休暇、および業務の軽減等が決められています。
- ◇育児休業：最長3年間まで育児休暇が取れます(要申請)。
- ◇短時間勤務：育児のための短時間勤務があります(男女共)。



センター病院看護師宿舎



宿舎周辺には公園もあり、緑に囲まれた閑静な住宅街です。また、新宿や渋谷、池袋などに近く、羽田や成田にもアクセスが良い場所です。

- 設備
- 2013年建築、1K(7畳)148室 2021年建築、1K(7畳)163室、病院まで徒歩約5分
 - エアコン、バストイレ別、温水洗浄便座、室内洗濯機置場、システムキッチンIH2口、BS/CS
 - セコムホームセキュリティ、エレベーター、モニター付インターホン、オートロック、宅配ボックス

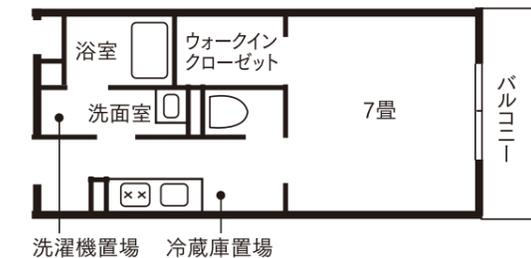
アクセス

新宿、渋谷、池袋すべて20分圏内！
生活・遊びに便利な抜群のアクセス環境です

- 都営地下鉄大江戸線『若松河田』駅から…徒歩約5分
- 東京メトロ東西線『早稲田』駅から…徒歩約15分
- 『新宿』駅西口から…バスで約12分



国府台病院看護師宿舎



バスのアクセスが良く、最寄り駅が充実しています。市川駅から東京駅まで19分、東京ディズニーリゾートまで34分と生活や遊びに便利な環境です。徒歩圏内に里見公園や江戸川遊歩道があり、お花見や散歩が楽しめ、豊かな自然のなかで生活ができます。

- 設備
- 2012年建築、1K(7畳)36室・1K(9畳)6室、病院まで徒歩1分
 - エアコン、バストイレ別、浴室換気乾燥機、温水洗浄便座、室内洗濯機置場、インターネット接続
 - モニター付インターホン、オートロック、カードキー、駐輪場

アクセス

東京まで20分圏内！
景観良くアクセスも良好です

- JR総武線『市川』駅から…バスで約15分
- JR常磐線『松戸』駅から…バスで約15分
- 北総鉄道『矢切』駅から…バスで約5分
- 京成電鉄『京成国府台』駅から…バスで約5分





【センター病院看護部】



【国府台病院看護部】

国立国際医療研究センター

センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
TEL : 03-3202-7181 (代)
<http://www.hosp.ncgm.go.jp/>

国府台病院
〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1
TEL : 047-372-3501 (代)
<http://www.ncgmkohndai.go.jp/>